

職員による自己評価

A 環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・駅から近いので通所がしやすく、一人の登下校に挑戦することができている。

B 業務改善

- ・情報発信の強化・開かれた教室運営を目的として月報を作成、配布している。
- ・職員用のマニュアルだけでなく、教室全体で確認できるような非常時マニュアルを作成予定。

C 適切な支援の提供

- ・職員間で情報を共有し、全職員で支援の方向性を確認している。活動後は振り返りを行い、次回の支援に繋げている。

D 関係機関との連携

- ・放課後等デイサービスの協議会等に参加をしている。今後も継続していく。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・LINE 等の活動報告に加え、送迎時に活動の報告も行っている。
- ・運営規定等は、入会時に口頭で説明し、文書を渡している。

F 非常対応

- ・職員の非常時対応研修を実施。
- ・また年二回の避難訓練も実施。

保護者による評価

A 環境面

- ・教室内はバリアフリー化がなされているが、事業所自体がビルの 4 階に位置しており、エレベーターがない点はバリアフリーとは言い難い。

B 児童への支援内容

- ・保護者のニーズ、本人の発達段階、特性に合わせて様々な活動がなされている。
- ・リラックスした状態で活動に取り組むことができている。
- ・事業所外の人々とも交流の機会があるとよい。

C 事業所からの情報発信

- ・LINE、メールで活動の詳細を受け取っている。
- ・ブログ等もチェックしている。

D 非常対応

- ・感染マニュアルがあるか不明。

E 満足度

- ・わかりやすい指導で、本人も楽しんでいる。
- ・毎回の通所を楽しみにしている。
- ・本人は学習が苦手なため、通所を他の事に魅しているとは言い難い。
- ・情報の共有、連絡がしやすいので安心できる。本人も通所に前向き。

事業所内での分析

【共通点】

- ・教室がビルの 4 階であることはバリアフリーとは言い難い。
- ・毎回の活動の様子、内容についてはしっかり伝達ができている。

【相違点】

- ・HP の認知度があまり高くない。月に 1 度の更新にたいして、どちらともいえないという評価が多数あった。
- ・非常時対応について地震、火災に関しては周知されているが、感染症などについては周知が不十分である。
- ・「父母の会」「児童クラブ」などの交流の機会について、必要、不必要ほぼ同数の意見であった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・送迎時や、毎回の活動報告等で、職員とコミュニケーションがとりやすい状況がある。気になる点などをすぐにお知らせいただき、支援につなげることができる。
- ・駅に近いことから送迎が行いやすく、また送迎に時間を取られることもない。登校時から下校時まで、計画的に活動を設定することができる。
- ・個人に合わせた支援、活動ができるよう、多様性のある活動を準備・提案している。

事業所の改善点

- ・教室全体の活動や、様子をより知っていただけるよう、情報の発信を強化していく。
- ・マニュアルについては保護者の方にも確認していただけるよう、教室内に設置をする。
- ・保護者同士の交流の場を求める声も多数あったため、そのような場が提供できるよう検討を行う。

事業所の改善への取り組み

- ・活動報告の一環として、保護者向け月報を作成し、毎月配布している。
- ・マニュアルは見やすいものを作成し、教室内に掲示する。
- ・保護者交流会は内容、日時を検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

開所から1年が経過し、2度目のアンケートで多くのご意見をいただいたこと、大変うれしく思います。毎回の通所を楽しみにしてくれているというご意見は何よりもありがたいものです。2年目に入るこのタイミングでご意見を伺う機会があったことは、さらなる事業改善に向けて大きなきっかけになったと思います。

今回いただいたご意見から、現状への新たな気づき、保護者様のニーズを知ることができました。これをもとにより開けた教室運営ができるよう、また安心して通所していただけるような教室を目指し、職員一同努めて参ります。

事業所名 オレンジスクール 東戸塚教室

担当者 管理者 古野愛莉